



消防団の組織概要

令和5年4月1日現在

都道府県名	神奈川県	所在地	〒250-0192		
市町村名	横浜市		神奈川県横浜市港北区大豆戸町26-1		
消防団事務所管	港北消防署総務・予防課消防団係	電話番号(直通)	045-546-0119	FAX	045-546-0119
消防団名	横浜市港北消防団	メールアドレス	sy-kohoku-sy@city.yokohama.jp		

組織	分団数	8	分団	ホームページURL	http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/shouboudan/05-14.html	
	うち機能別分団数	0	分団	SNSアカウント		
	方面隊数	0	隊			
	部数	0	部	消防団活動事例・PR等		
	班数	46	班			
団員数	条例定数	700	人	1 港北区の特色		
	実員数	661	人	港北区は横浜市の北東部に位置し、約35万9千人と横浜市のみならず全国の政令指定都市で一番人口が多い行政区です。新横浜駅を中心とした新横浜エリアに横浜国際総合競技場、横浜アリーナといった大規模集客施設があり、令和5年3月に相鉄新横浜線、東急新横浜線が開通し、益々便利になりました。新横浜エリア以外にも東急東横線、JR横濱線、横浜市営地下鉄沿線も住宅地、大規模商業施設等があり活気のある街です。		
	男性団員数	566	人			
	女性団員数	95	人			
	基本団員数	661	人			
	大規模災害団員数	0	人	2 主な活動		
	その他の機能別団員数	0	人	(1) 港北区消防出初式・港北消防団夏季訓練会 港北消防団の活動を披露する場面として、出初式での式典や消防演技、夏季に行われる訓練会でポンプ操法を行っています。		
職業構成別団員数	国家公務員	0	人	(2) 地域等への防災指導 港北消防団では、町内会に向けて初期消火に関する指導や、町内会、中学生への救命講習も行っています。		
	地方公務員	6	人	(3) 実災害を想定した訓練の充実 訓練の中心は消防署との連携を中心とした実災害を想定したものであり、公設消防隊と連携した遠距離送水訓練や、消火訓練、震災や風水害等の大規模災害を想定した情報受伝達訓練を実施しています。		
	都道府県職員	1	人			
	市区町村等職員	5	人	(4) ラグビーワールドカップ2019・東京2020オリンピック・パラリンピック 横浜国際総合競技場においてラグビーワールドカップ2019は決勝戦を含む7試合、東京2020オリンピックのサッカーは男女共に決勝戦を含む11試合を実施しました。ラグビーワールドカップの頃は横浜国際総合競技場付近に警戒本部を設営したが、オリンピックは新型コロナウイルス感染症により無観客開催のため、港北消防署会議室に消防団本部を設営し、消防署との連携を確立しました。女子サッカーの決勝戦が当初の予定から急遽、横浜国際総合競技場で行われることになり、消防署と連携して迅速な対応ができました。		
	特殊法人等公務員に準ずる職員	2	人			
	農協職員	0	人			
	日本郵政グループ	1	人	3 第八分団～横浜市内で唯一の女性のみで構成されている分団～ 第八分団は平成10年に結成されてから20年が経過し、現在では90名の団員が所属しています。主な活動は火災予防広報活動、避難誘導、各種救命講習、各種災害対応、ポンプ操法、資機材取扱等の各種災害に対応した訓練となります。第八分団で資機材取扱訓練、情報受伝達訓練といった災害対応訓練を行い、災害対応能力の向上を図り、女性としての柔らかさを併せた地域全体の防災力を高める担い手となります。女性の底力、一つの目的に向かって一致団結できるチームワークを大切に第八分団はこれからも邁進します。		
その他	652	人				
ポンプ	普通消防ポンプ自動車	0	台			
	水槽付消防ポンプ自動車	0	台			
	小型動力	小型動力ポンプ付積載車	39			台
		小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)	19			台
		手引き動力ポンプ	0			台
年額報酬	報酬額(階級:団員)	年額	36,500	円		
	(参考)交付税単価(階級:団員)	年額	36,500	円		
出動報酬	火災	7,000	円			
	風水害等の災害	7,000	円			

※1:「消防団の組織概要等の調査」による

※2:「年額報酬」「出動報酬」の額は、令和5年4月1日現在の条例で定める額。

「出動報酬」については、日額で定めがある場合は最大額を記載。一方、日額で定めていない場合は8時間の出動に換算した額を記載。

定めがない場合又は年額支給の場合には「-」と記載。

※3:詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。